Rotary The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通 算 3 1 3 8 回 2022年10月21日 第 1 1 回 例 会

IMAGINE ROTARY

2022~2023年度 R I 会長 ジェニファー E. ジョーンズ

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎22171

例会場

3

清流山水花 あゆの里内 🕿 246665 🕿 246505



人吉ロータリークラブ ホームページ



ff フェイスブックページ

事務局

[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2022~2023年度 人吉ロータリークラブテーマ ロータリーを機会と捉え、その機会により未来を拓く

本日の例会

国歌斉唱・Rソング斉唱・来訪者紹介

会長の時間

幹事報告

出席率報告・会務報告

Rの友紹介

米山月間 米山奨学生招待卓話

寄付カード

点 鐘

青木一幸 会長

歌唱

ソングリーダー 丸尾真也 委員

国 歌 「君が代」 R S 「奉仕の理想」

司会·進行 プログラム 小笠原賢治 委員長来訪者紹介 青木一幸 会長

国際ロータリー第2720地区

ボク イチョル 米山奨学生 朴 利澈 様

米山資金推進委員会

副委員長

古﨑 正倫 様 (熊本東RC)

八代ロータリークラブ カウンセラー

吉田 明子 様村田 眞一郎 様

会長の時間

会長 青木一幸

皆さん、こんにちは。

今月は米山月間ということで、地区の方に米山奨学生招待卓話をお願いしましたところ、本日は、この4月から熊本県立大学日本語日本文学科に在籍されています、パクイチョルさんに卓話をいただくこととなり

ました。世話クラブは八代ロータリークラブということであります。詳しくは、後ほど引率で同行いただきました、米山記念奨学会地区委員、資金推進副委員長の古崎正倫様の方からご紹介をいただくこととなっております。本日はどうぞうよろしくお願いいたします。

パクさんの母国の韓国に関する最近のニュースに、 人気グループのBTSのメンバーの一人が兵役につく との報道がありました。BTSはいまや世界的な人気 グループで、国連においてもアジア系に対する人種差 別問題についてスピーチを行うなど、アイドルの域を 超えた社会的存在となっていることから、韓国では兵 役免除すべきか否かで国内論争がかまびすしくなって おりました。

期せずして、メンバー本人が兵役に就くことを自ら表明したことで、この論争自体は終焉を見たわけでが、私がこの報道で今更ながらあらためて思いまのは、国防という視点や活動というものが、お隣の国では、国民の中に我がこととして日常的に認知れ、存在しているんだな、ということでありました。翻って、我が日本はどうか。言わずもがな、日本に関策の指さんに実質的にないます。勿論、韓国と日本ではは防を担っていただいています。勿論、韓国とは古るという規実もある中で、一概に比較することを見し引きないことは当然ですが、ただそうしたことを差し引きないことは当然ですが、ただそうしたことを差し引きにしたとしても、私も含め今の日本では国防といて、韓国に比べて何か他人ごとのように感じてしまっているように思えてなりません。

このような話をすると、国民は必ず高い国防意識を持つべき、といった好戦的な思想を私が持っているかのような誤解を与えるかもしれませんが、決してそうではありません。国のことを考える前にまずは個人が大事、住む国は自分で決めるべき、といった若い人たちの意見にもそれなりの合理性はあると思っています。しかし、そうした様々な意見も含めて、そうしたことを公で議論すること自体なんとなくタブー視されているような空気感というものがあるのではないかと

私自身は思っています。そしてそのことと国民のいまの国防意識とは決して無縁でないのではないかと思います。さしてその空気感というものは、テレビを中心とした日本のマスコミが国民に中立的でプレーンな報道を行っているかどうかということと大いに関係しているのではないかと個人的には思っています。

一方で、我々の側も、マスコミ報道を受動的に受け入れるだけでなく、こちらから主体的に情報を収集する取り組みが必要ではないかとも思います。そこで重要となるのは、情勢の異なる他国の方たちとの交流・コミュニケーションではないかと思います。その意味では、本日の米山奨学会の活動といった人材交流活動は大変有意義なものであります。本日の国防の話のような若干機微にふれる話題などは特に、こうした近しい本音で聴見交換できる人的交流の中で、彼我の差を生の声で聴いて感じ確認し、そして、その上でもう一度自分の国のことに置き換えて考えてみるという、絶好の機会を与えてくれるものと考えます。

本日お越しのパクさんには、この奨学期間の2年間、大学の学生仲間は勿論、ロータリアンやローターアクトの人たちとも広く交流をしていただいて、韓国のいろいろな生の情報を伝えていただく中で、私たち日本人に、良き刺激を与えていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

以上、今日はちょっと話が固くなりましたが、これにて会長の時間を終わります。ご清聴ありがとうございました。

幹事報告

幹事代理 竹長一幸

≪連絡事項≫

- ・2021-22年大森年度地区資金監査報告が届いております。(回覧)
- ・別府RCより創立70周年記念式典への参加御礼が届いております。(回覧)
- ・ロータリー米山記念奨学会ハイライトよねやま271号 (回覧)
- ・人吉文化協会より第47回人吉文化祭開催ご案内 11/5(土) 11/6(日) 石野公園・カルチャーハ°レス (回覧)

○今後の例会予定

10/28 例会12:30~ あゆの里 地域発展功労者表彰 11/4 休会

出席率報告

委員長 平山 修

席免除会員数 2名	48名	数	員	会	現
10/7出席率	46名	員数	務会」	席義 和	出月
76.60%	11名	数	者	席	欠
70.00%	35名	数	者	席	出
ZOOM(4) 会場(32)	1名	席数	員出月	除会員	免隊

出席免除会員数 2名	48名	数	員	会	現
本日の出席率	46名	員数	务会員	有義 和	出月
71.74%	13名	数	者	席	欠
11.14%	33名	数	者	席	出
ZOOM(3) 会場(30)	0名		員出周	余会身	免隊

【親睦委員会】

委員長 井手富浩

10月結婚記念祝い					
冨永啓太会員 10日	石蔵尚之会員 13日				
春木 顕 会員 13日	中島博之会員 17日				
平田フク会員 17日	岩下幸司会員 26日				
10月誕生祝い					
岡本明徳会員 8日	浅野 強会員 30日				

【感謝状贈呈】

ロータリー米山記念奨学会

第1回米山功労者 石蔵尚之会員



【雑誌委員会】

ロータリーの友10月号紹介 春木 顕 会員



ロータリーの友10月号の紹介をします。

本日のお客様にも米山奨学生の方が来訪されていますが、10月号には「米山月間&ロータリー学友参加推進週間」として特集が組まれています。

横書き8ページには、元米山奨学生で今年3月まで京都精華大学学長をされていた佐古ウスビ氏への特別インタビューです。佐古ウスビ氏は西アフリカ・マリのご出身ですが現在は日本に帰化されています。1991年に来日、京都北ロータリークラブを受入れクラブに米山奨学生になられます。

多様化の重要性を言われる時代になりましたが、このインタビューからも多様性の大切に気づかされます。

まずは価値観。「迷惑をかける=お互いに気を許し合う」という一面があるという考え方です。私は「迷惑をかけないように…」という価値観の中にいましたので、目から鱗が落ちるようでした。また「私が日本で安心して暮らせるのは、ひとつはロータリーのおかげ。居場所づくりとは『人と人とのつながり』だと、私は思っています。」には、今の地域スローガンにも合致するものだとも感じました。

「先入観で、見ていませんか?」という問いかけに

も考えさせられました。氏の大学にはマンガ学部がありますが、そこの学生に氏の絵を描かせたところご本人とはかけ離れた姿となったとのこと。異文化に対する認識の問題を提起されたようでした。

印象的だったのは、最後の段。米山奨学生を卒業する時、多くの奨学生がまるで全てが終わるかのように泣きながら「ありがとう」というが、本当の始まりはここから。自分がやがて、ロータリアンと同じように、他の人を支えられるぐらいの力を身につけること、そうして初めて支えてくれた人たちのありがたみが、より深くわかるのではという部分です。私は奨学生ではありませんが、身に沁みる部分でした。

縦書き4ページには井領明広氏の「デジタル時代の 企業改革が会社と地域を変える」と題した第2530 地区の地区大会記念講演要旨があります。デジタル化 を推進する世の中ですが、何のためのデジタル化なの かということを改めて考えさせられました。

生き残るため、不要なことを減らすため、急激な変化に対応し続けるための「時間」を生むためのデジタル化という視点を私も大切にしたいと感じました。

中段には、デジタル化とは離れているように見える 産業でのデジタル化と、そこで得られたものを、豆腐 屋、レタス農家を例に紹介されています。読み取れる のは、先代から大切にしてきた人間関係の絆を断ち切 るという、デジタル化のネガティブなイメージは間違 いで、逆に事業承継につなげていけるという姿でし た。

今回は持ち時間5分という限られたものでしたが、 どの分野にも生かせる視点を沢山与えられるものでし た。ありがとうございました。

【米山記念奨学委員会】

米山月間 米山奨学生招待卓話

委員長 堤 正博

今月は米山月間です。米山功労者表彰状を頂かれた 石蔵さんおめでとうございます。皆様も米山へのご寄 付を宜しくお願いします。

ここ2、3年間はコロナ禍の影響で米山活動も十分に出来ませんでしたが、久しぶりに米山奨学生が人吉RCに来てくれました。朴利澈(パク イチョル)さんです。ぜひ楽しみにしてください。

朴さんの引率として、地区委員の古﨑正倫さん(熊本東RC)、世話クラブの八代RCよりカウンセラーの吉田明子さんと村田眞一郎さんに来て頂いております。青木会長のお話と合わせて朴さんのお話をお聞き頂きたいと思います。

地区米山資金推進委員会 副委員長 古﨑正倫様

皆様こんにちは。熊本東RCで現在幹事をしております小﨑正倫と申します。地区では米山資金推進委員会副委員長を仰せつかっております。本日は米山記念奨学生朴利澈君の引率で参りました。また、受け入れクラブの八代RCより、カウンセラーの吉田様、村田様にも同行頂きました。

朴君は、現在熊本県立大学文学部の3年生、日本語

の記述を専門とした研究に日々励んでいます。

彼の印象としまして、地区米山セミナーやカウンセラー報告会の時に話を聞いたことがありますが、学生の中でも群を抜いて日本語が上手ですね。そしてすごく落ち着いた雰囲気があります。話をしていても深みのあるような表現がとても上手な学生さんだと感じました。この後、本人から卓話の中で自己紹介があると思います。

最後に、米山資金推進委員会からのお願いになりますが、これからも海外留学生を支援するロータリー米山記念奨学事業へ皆様のご支援ご協力を宜しくお願い致します。





◇自己紹介

米山奨学生 朴利澈 (パク イチョル)

平成8年11月21日生まれ (現在25歳) 大韓民国京畿道高陽市 出身

2016年 立命館大学法学部法学科入学

2017年 自主退学

2018年 ワーキングホリデーの制度を利用し、再び

来日

2019年 熊本県立大学文学部 日本語 日本文学科に

入学



◇留学を決めたきっかけ

幼い頃から、日本のドラマやバラエティー、ドキュメンタリーなどを見ながら、日本に憧れを持つようになる。

高校進学後、第二外国語の授業で初めて日本語を習う その後、同じく日本に興味を持った友人たちに出会 い、高校に日本文化部を設立する。

高校1年の頃、家族や友達と二度、日本旅行に行き、より日本の文化に心酔するようになる。

高校1年の秋から本格的に日本語を勉強しはじめる。 高校2年の夏、進路相談で高校の先生から日本留学を 進められる。

大好きな日本で勉強してみたいという気持ちで留学を 決断。

1年の浪人を経て、2016年 立命館大学に入学。

◇一度の挫折

念願の日本留学だったが、家庭の事情や、海外での生活に馴れず、たったの1年で大学を辞めることになる。 韓国に帰国後、目的や目標もないフリーター時代を送る。

その後、自身の考えを改め、もう一度日本留学を決意する。

2018年、先ずは日本の社会を経験するために、すぐ留学するのではなく、ワーキングホリデー制度で来日。 仕事をしながら、留学試験の勉強を行なう。 2019年、熊本県立大学に入学。

◇現在の学業

大学入学後、日本語や日本文学を幅広く学び、その中でも一番興味を持っていた、社会言語学を専攻に選び、副専攻として日本語教授法を選ぶ。

社会言語学では、主に言語接触を研究。 日本語教授法では、模擬授業などを行なう。

◇卒業後の進路

新型コロナの終息や韓国の現保守政権の日本との関係 正常化に対する高い意欲などを踏まえると、今後、日 韓の民間交流が盛んになると予想。

卒業後は、インバウンド業界や韓国と取引を行なう日本の会社で働くことを希望。

あまり現実味がないかも知れませんが、日韓の関係を 少しでも良くしていけるような活動を行いたいと心か ら望んでおります。

ご清聴、誠にありがとうございました。

記念品贈呈







【寄付カード】

〈ニコニコ箱委員会〉

- ・熊本東RC古崎様. 八代RC吉田様. 村田様 本日は出前セミナーのお声掛けを頂き、誠に有難う ございます。卓話をさせて頂く米山奨学生の朴君 共々本日はどうぞ宜しくお願いします。
- ・岡本会員 お誕生祝いありがとうございました!
- ・友永会員 就学時検診のため早退致します。

〈米山記念奨学委員会〉

- 石蔵会員 米山功労者表彰をいただきましたので寄付します。パクさんご来訪ありがとうございます。 これから日韓の架け橋となられることを期待します。頑張って下さい。
- ・**伊久美会員** 朴様、卓話有難うございました。 今後益々のご研鑽を祈念致します。
- ・片岡会員 パク君ようこそ人吉へ がんばれパク君
- 青木会長 パク様、古﨑様、吉田様、村田様、本日 はお忙しい中、遠方までお越し頂き有難うございま した。
- 延岡会員 パク君 一度離れた日本に改めて来られて、今日こうしてお会い出来たことに感謝します。

〈R財団委員会〉

・青木会長 米山カードと同文

〈人吉RC奨学基金委員会〉

・青木会長 米山カードと同文

点 鐘 青木一幸 会長